

JILPT 資料シリーズ

No.217 2019年6月

若年者の就業状況・キャリア・ 職業能力開発の現状 ③

—平成29年版「就業構造基本調査」より—



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状 ③

— 平成29年版「就業構造基本調査」より —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

本資料シリーズは、プロジェクト研究「多様なニーズに対応した職業能力開発に関する研究」のサブテーマ「若者の職業への円滑な移行とキャリア形成に関する研究」にかかる「学校と労働市場との接続のあり方に関する研究」に位置づく。

本資料シリーズの目的は、総務省統計局が実施した『就業構造基本調査』の二次分析を通じて、若者の雇用の状況の変化とその背景を探ることであるが、今回は課題研究「平成29年就業構造基本調査の二次集計・分析」を受け、「就職氷河期世代」についての分析も行っている。

本資料シリーズは、すでに発表した資料シリーズNo.61、資料シリーズNo.144 と合わせて経年的な変化を迫るようになっている。

本資料シリーズが現在の若者だけでなく、高度成長期以降に若者に対する支援の必要性をはじめ社会的に認知させた「就職氷河期世代」—すでに壮・中年期になった人々—に対する理解と支援に資することができれば幸いである。

2019年6月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
堀 有喜衣	労働政策研究・研修機構 主任研究員	序章 第2章 (2.10のみ)
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構 研究顧問	第1章 第2章 (2.10以外) 第3章 第4章

目 次

序章 集計・分析の課題	1
0.0 はじめに	1
0.1 使用するデータ	1
0.2 「就職氷河期世代」についての要約	1
第1章 若年者の就業にかかわる全体状況	4
1.0 はじめに	4
1.1 若年者の有業・無業の状況	4
1.2 有業・無業と結婚の関係	10
1.3 まとめ	12
第2章 若年期の職業キャリアの変化	13
2.0 はじめに	13
2.1 初職の状況	13
2.2 新規学卒就職状況の経年変化	18
2.3 職業キャリアの類型化	20
2.4 現職の就業形態と職業キャリア	33
2.5 就業形態・職業キャリアと労働時間・収入	37
2.6 就業形態・職業キャリアと就業継続・転職希望	43
2.7 フリーター数の変化と属性別傾向	53
2.8 フリーターの就業継続・転職希望	59
2.9 非典型雇用から正社員への移行	65
2.10 「就職氷河期世代」の移行	77
2.11 まとめ	80
第3章 非求職無業者（ニート）の経歴と意識、社会的背景	83
3.0 はじめに	83
3.1 非求職無業者の諸属性とその変化	83
3.2 就業希望の有無とその理由	87
3.3 就業経験と前職離職時期	98
3.4 1年前の状況との異同	103
3.5 属する世帯の状況	106
3.6 まとめ	114

第4章 過去1年間の職業能力開発経験	117
4.0 はじめに	117
4.1 諸属性、就業状況、就業先と職業能力開発	117
4.2 労働時間、収入、勤続期間と職業能力開発	129
4.3 就業継続・転職希望と職業能力開発	133
4.4 実施した能力開発の形態	137
4.5 キャリア類型と職業能力開発:正社員に移行するキャリアに注目して	146
4.6 まとめ	148
付属統計	151
付表	151
都道府県別集計	237